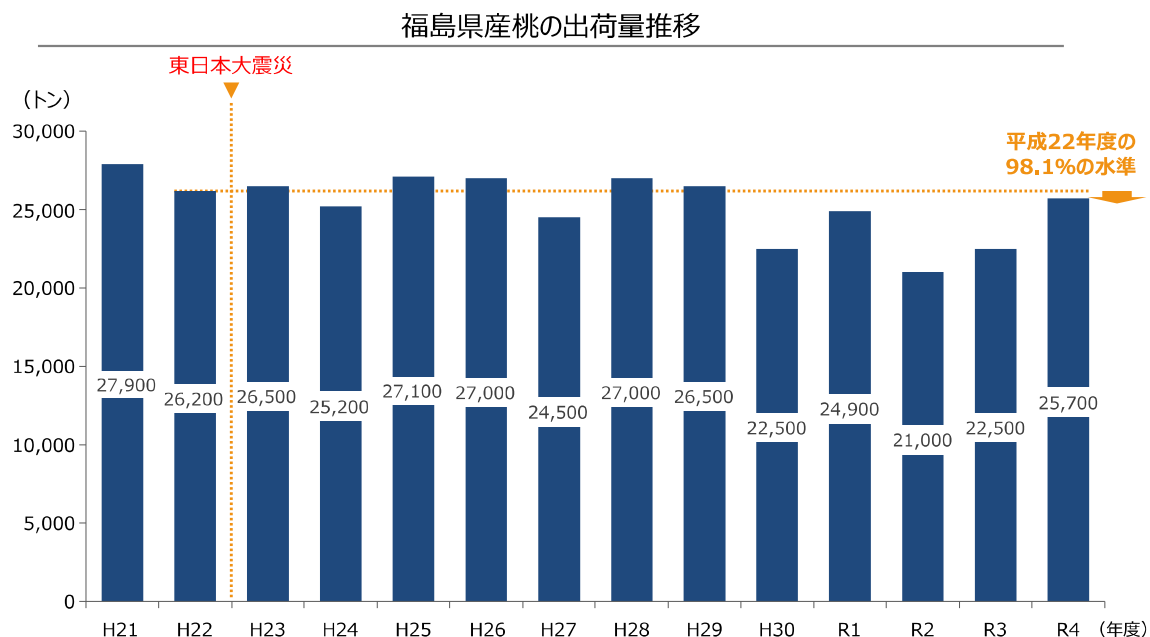


- 令和4年度の福島県産桃出荷量は、平成22年度の98.1%となった。



※令和2年度については、4月中旬からの低温により着果数が少なかったこと、7月の長雨、日照不足により果実の軟化が発生したこと、更に前年の台風による大雨の影響もあってモモせん孔細菌病が発生したこと等により、出荷量が減少した。

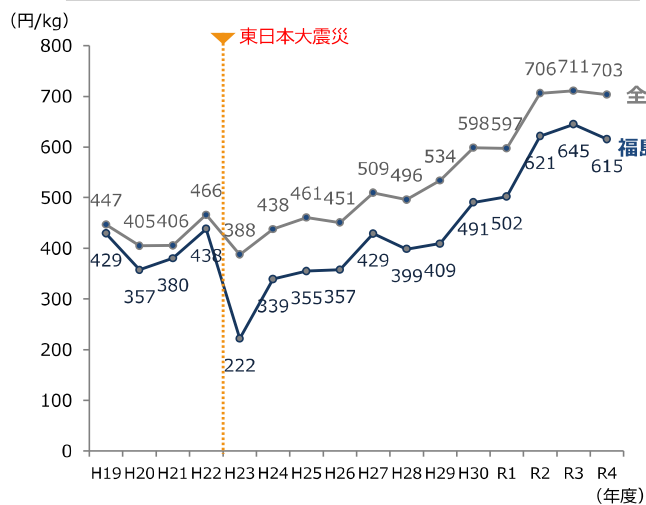
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

39

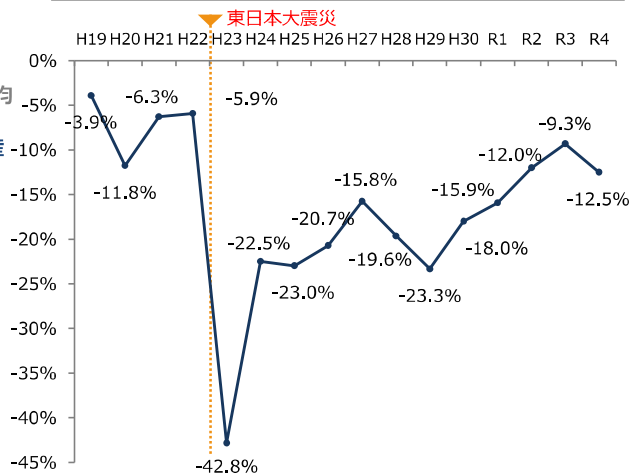
福島県産桃の市場価格の推移（概要調査）

- 東京都中央卸売市場での福島県産桃の平均単価は、震災直後に下落したものの、その後は概ね上昇を続けている。
- 全国平均との価格差は平成23年度に拡大した後、徐々に回復傾向にあるが、依然震災前よりも価格差が残っている。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



全国平均と福島県産品の価格差の推移

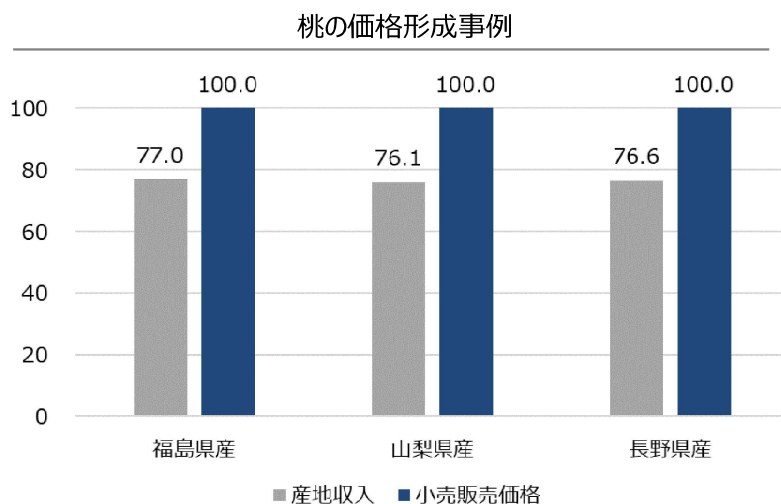


※福島県産品と全国平均の価格差を、全国平均の価格で割った値。
例えば、福島県産品が全国平均より1割安ければ-10%となる。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」（7～9月の平均価格）

40

- 通信販売をする小売業者が扱う桃の事例。
 - この小売業者では、卸売業者を通さず産地と取引をしている。
 - 福島県産・山梨県産・長野県産ともに、小売販売価格に対する産地収入の比率は同程度であった。



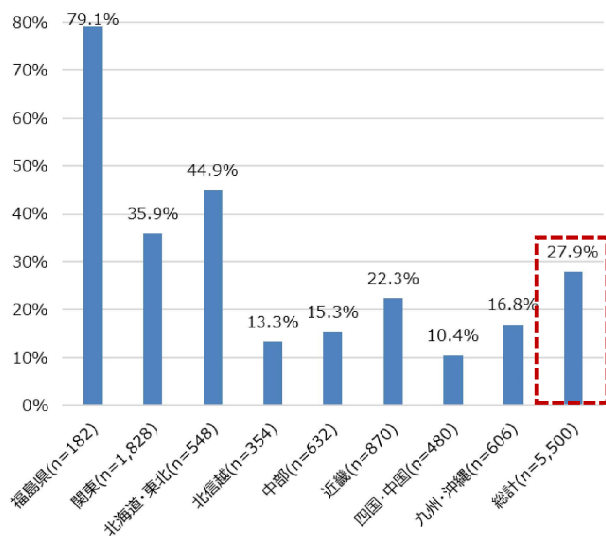
※数値は小売販売価格を100とした指数。

41

福島県産桃の消費者の購買経験と評価（アンケート調査）

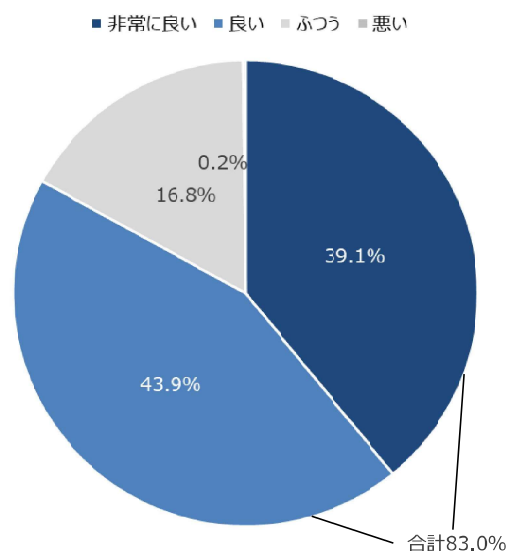
- 全国の消費者のうち、福島県産桃を購入した経験がある消費者は27.9%であった。
 - 福島県内居住者では79.1%、北海道・東北居住者では44.9%、関東居住者では35.9%であった。
- 購買経験者に福島県産桃の評価を尋ねたところ、「非常に良い」「良い」が8割以上を占めた。

福島県産桃の購買経験率



※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた場合は購買経験なしとなる。

福島県産桃購買者の評価（n=1,536）

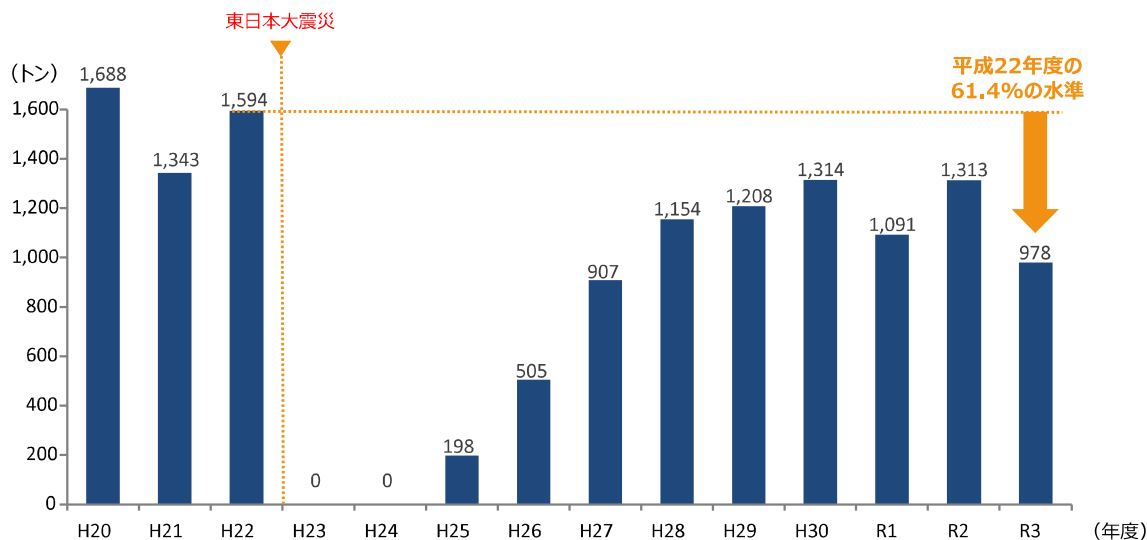


※福島県産桃を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

42

- 福島県産あんぽ柿は、震災直後に出荷を自粛した後、平成25年度に出荷を再開して以降、徐々に出荷量は回復。
- 令和3年度の出荷量は、柿が凍霜害を受けたことから平成22年度実績の61.4%となっている。

福島県産あんぽ柿の出荷量の推移



データ出所：福島県調べ

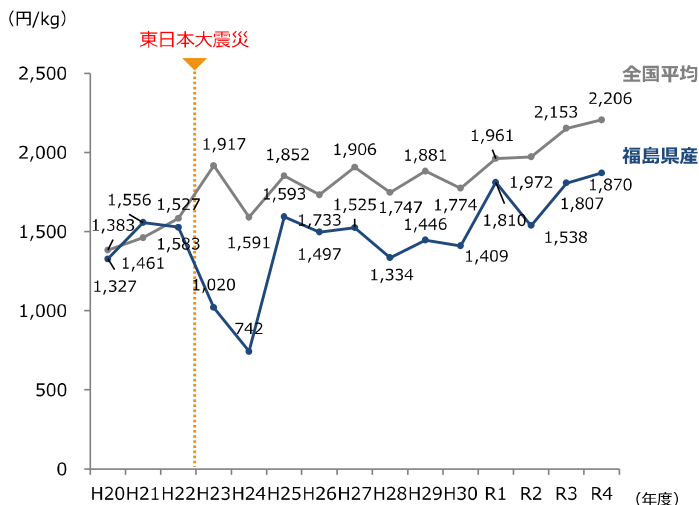
43

福島県産あんぽ柿の市場価格の推移（概要調査）

干し柿のデータ

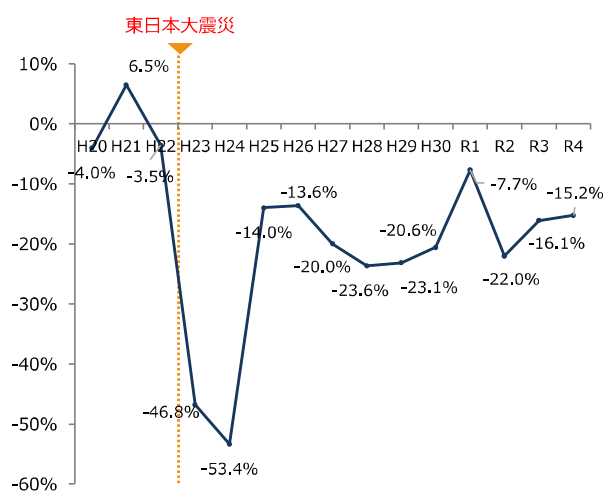
- 令和4年度の東京都中央卸売市場での福島県産干し柿の平均単価は、全国平均と同様に上昇した。
- 震災前は全国平均とほぼ同程度の価格であったが、震災後は全国平均を下回る水準で推移している。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



※令和4年度は、令和4年12月までの実績を使用。

全国平均と福島県産品の価格差の推移

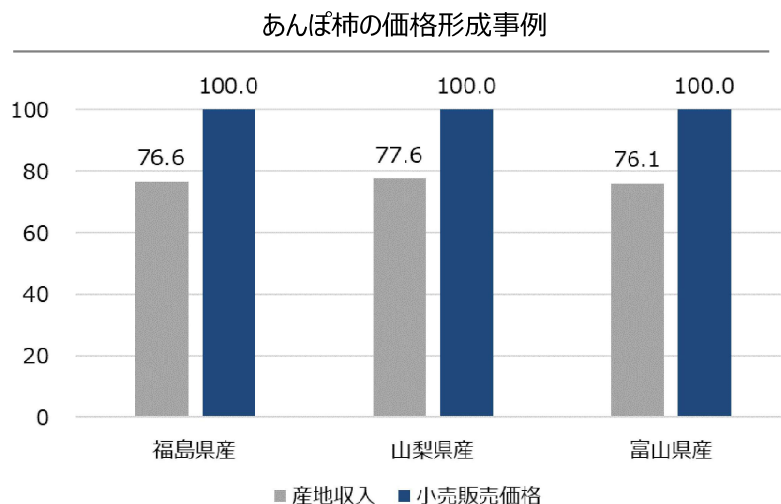


※福島県産品と全国平均の価格差を、全国平均の価格で割った値。
例えば、福島県産品が全国平均より1割安ければ-10%となる。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

44

- 通信販売をする小売業者が扱うあんぽ柿の事例。
 - この小売業者では、卸売業者を通さず産地と取引をしている。
 - 福島県産・山梨県産・富山県産ともに、小売販売価格に対する産地収入の比率は同程度であった。



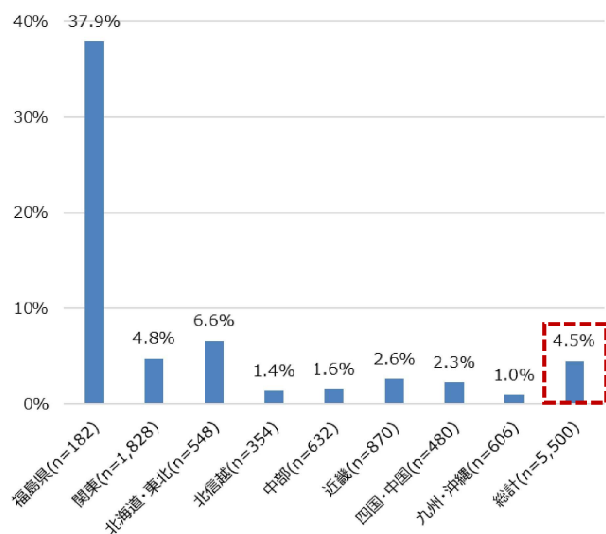
※数値は小売販売価格を100とした指数。

45

福島県産あんぽ柿の消費者の購買経験と評価（アンケート調査）

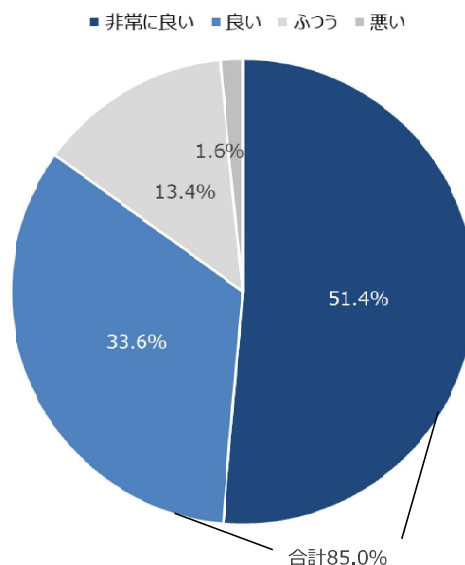
- 全国の消費者のうち、福島県産あんぽ柿を購入した経験がある消費者は4.5%であった。
 - 福島県内居住者では37.9%である。なお、北信越・中部以西への出荷は限定的と考えられる。
- 購買経験者に福島県産あんぽ柿の評価を尋ねたところ、「非常に良い」「良い」が8割以上を占めた。

福島県産あんぽ柿の購買経験率



※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた場合は購買経験なしとなる。

福島県産あんぽ柿購買者の評価（n=247）



※福島県産あんぽ柿を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

46